新興国漫遊記
SBI証券
2010年 4月 6日
Vol.5

『カジノ都市』マカオの現状をレポート

マカオの主要な観光客は？

『カジノ都市』と聞いて、皆さんはどのような場所を想像するでしょうか？
映画や小説、またはゲームの中ではよくカジノが登場しますが、日本国内にいると、実際のカジノのイメージは湧きにくいのではないでしょうか。

なぜ、そのような事を聞くのかといいますと、今回の取材の目的地が、“カジノ都市”マカオなのです。

成田空港から香港国際空港へ着いたら、そのまま高速鉄道に乗って香港島の中環（セントラル）の埠頭に移動し、ターボジェットに乗ってマカオに向かいます。

ターボジェットの中は、ほとんどが中国本土の人々のようです。噂では聞いていましたが、今やマカオの主要顧客は「中国本土人」。かつてのマカオは「欧米の富裕層が旅行ついでに遊んで帰る」というイメージでしたが、どうやらそれは完全に過去のものになりつつあるようです。

ターボジェットに乗り、マカオへ到着
（筆者撮影）

マカオの中心部ではカジノホテルが建ち並ぶ
（筆者撮影）

「もうタイにリゾートを楽しみに行く必要はない」

マカオについたら、宿泊先のホテルにチェックイン。マカオの高級ホテルはほとんどがカジノ併設ですが、私はあくまで取材で出張に来ているため、もちろんカジノがない中堅ホテルです。支度をしたら早速、開発区に位置するマカオ最大のカジノホテル「ベネチアン」に向かいます。

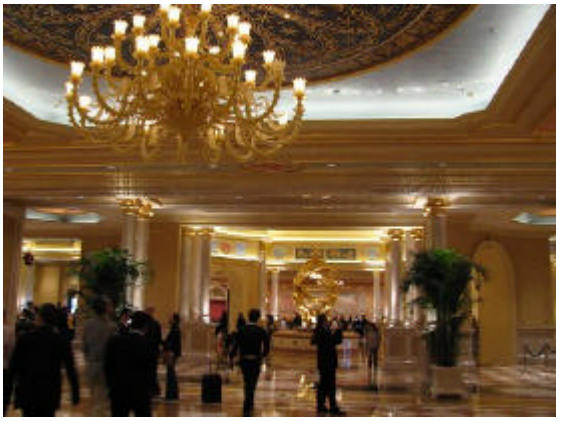
本資料の免責事項・注意事項

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

新興国漫遊記

SBI証券
2010年 4月 6日
Vol.5

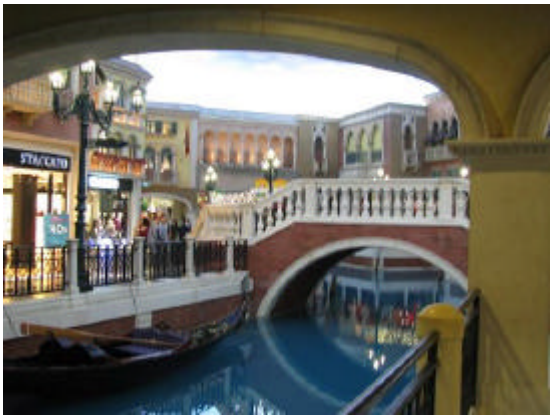
ベネチアンホテルの外観、日本では考えられない規模観だ
（筆者撮影）



まるで西洋のお城のような受付
（筆者撮影）

さて、このベネチアンの大きさですが、皆さんはどれくらいの規模を想像するでしょうか？俗に「フロントから部屋まで歩いて20分」などといわれています。実際に建物の端までは、20分は大げさとしても、ゆっくり歩いて10分弱はかかる規模です。

最初はショッピングモールの視察です。下の写真をご覧下さい。これは屋外ではなく、屋内の写真です。空に見えるのは天井に描かれた絵で、水路とゴンドラは本物。つまりホテル内にベネチア風の水上都市を再現し、船を浮かべているのです。そしてその所々に、ブランドショップがあり、そこで中国本土の方がショッピングとして贅沢品を購入しているのです。



ホテルのショッピングモール内に人工の川が流れている
（筆者撮影）

屋外でショッピングをしている感覚になってしまう
（筆者撮影）

本資料の免責事項・注意事項

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

株式会社SBI証券（金融商品取引業者）関東財務局長（金商）第44号　加入協会/日本証券業協会、（社）金融先物取引業協会

SBI証券

新興国漫遊記

SBI証券
2010年 4月 6日
Vol.5

ブランドショップで聞こえる言葉はほとんどが中国語で、英語はあまり聞くことはありませんでした。もちろん、日本語は滞在中に一度も聞きませんでした。このような状況からも、マカオの主要な顧客が中国本土の人々であることが伺えます。

そしていよいよカジノに入ります。下の写真は、カジノフロアの入り口にあたるホールの巨大モニュメント。このあたりは巨大な吹き抜けになっており、多くの中国人がひっきりなしに出入りしています。そしてここから先は、残念ながら完全に撮影禁止。カジノフロア以外であれば、スナップ程度なら問題ないようですが、いかにも「取材中です」といった風に写真を撮っていると注意されます。ですので、今回の撮影をしている際も、ヒヤヒヤものでした。

カジノに入ると、中は中国人で溢れかえっていました。欧米から来ているお客さんはごくまれに見かける程度。カジノというと、男はタキシード、女性はカクテルドレスなどの洗練されたイメージがありますが、中国人は良くも悪くも“普段着”である点も独特。

こうした“普段着の中国人”たちが、普段着とはかけなれた金額を賭けてバカラやルーレットに興じているのです。西洋的な“カジノ”のイメージも、中国文化のフィルターを通ると“鉄火場”に変貌するのでしょうか。

もちろん私はただ見ているだけ。現場の雰囲気と一度の掛け金の大きさにただただ圧倒されて、実際に賭けることはできませんでした。

カジノフロアの入り口にある巨大モニュメント　（筆者撮影）

ベネチアンをあとにして市内の視察に向かうと、街中で開発中の巨大ビルが多数みられました。その中でもひときわ目立つのが、2011年第1四半期オープン予定の「ギャラクシー・メガ・リゾート」（銀河娯樂渡假村）。部屋数、カジノフロア面積の規模はいうに及ばず、屋上庭園、世界最大級の屋外プール、白砂のビーチなども作られるそうで、同社の副社長が「もうタイにリゾートしに行く必要はない」と豪語した逸話は有名。生活消費財のみならず、“娯楽”も内需で賄う中国の底知れなさを感じます。

工事現場の前の看板にはGALAXYの文字が見える
（筆者撮影）

今後も次々に巨大施設の建設が予定されている
（筆者撮影）

本資料の免責事項・注意事項

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

株式会社SBI証券（金融商品取引業者）関東財務局長（金商）第44号　加入協会/日本証券業協会、（社）金融先物取引業協会　SBI証券

新興国漫遊記

SBI証券
2010年 4月 6日
Vol.5

政府管理下で50％以上成長したことも

マカオ経済のファンダメンタルもチェックしておきましょう。マカオ経済の柱は、いうまでもなく観光とカジノ。顧客はここまで見てきた通り、中国本土13億人です。現在、中国全土で個人資産100万ドル（約9,200万円）以上の人が36.4万人（82.5万人との試算もある）、10万ドル（約920万円）以上なら5,000万人はいるとみられています。これら5,000万人の富裕層が、前述のように“タイ”やその他の国々ではなく、お膝元のマカオにお金を落とすということを考えると、マカオ経済の底堅さは想像以上のものになるのかもしれません。

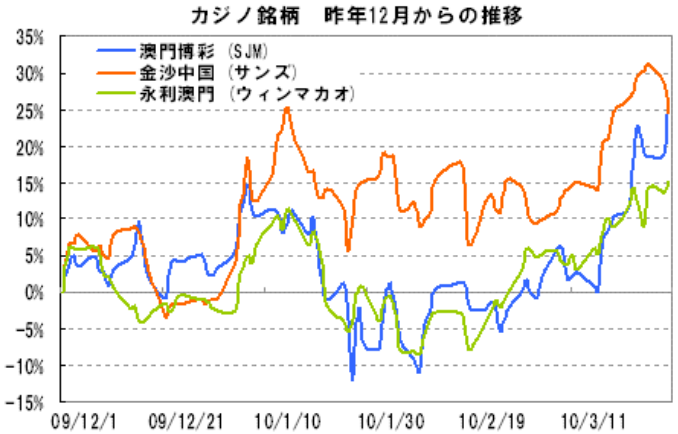
マカオは国ではなく中国の特別行政区ですが、マカオ単体のGDP成長率を四半期で見ると、2002年第４四半期以降はほぼ前年比10％以上をキープし、2004年第２四半期や、2007年第２四半期に至っては、それぞれ同50.1％、同31.9％と、目を見張る発展ぶりを示しています。

リーマンショックに端を発する世界経済の後退により、2008年第4四半期以降は３四半期連続でマイナス成長となっていましたが、世界的な景気の底打ちや隣接する中国本土の力強い回復力の影響を受けて、2009年第３四半期にプラス成長へ回復し、2009年第４四半期には前年比27.4％と想像以上に強い回復を見せました。

Bloombergデータより、SBI証券が作成

マカオのカジノ関連銘柄としては、有名なところでは澳門博彩（SJMホールディングス/00880）、米カジノ大手ラスベガス・サンズのマカオ子会社である金沙中国（サンズチャイナ／01928）、永利澳門（ウィンマカオ／01128）が香港証券取引所に上場しています。マカオのカジノ市場では澳門博彩が市場シェア３割でトップの地位を占めており、その次が金沙中国で、約２割のシェアとなっています。

年末から年初にかけて３銘柄とも堅調な値動きを見せていました。2009年12月のマカオのカジノ収入が前年同月比48％増の110億パタカ（14億2,000万ドル）になったとの報道があり、業界全体の見通しが明るくなってきたことが背景にあります。その後は米国での金融規制案や中国の引き締め政策を嫌気した世界的な株安に連動する形で一時的に値を下げましたが、再び値を戻し、全てが年初来高値を更新しました。



Bloombergデータより、SBI証券が作成

本資料の免責事項・注意事項

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

株式会社SBI証券（金融商品取引業者）関東財務局長（金商）第44号　加入協会/日本証券業協会、（社）金融先物取引業協会　SBI証券

伝家の宝刀 規制渡航緩和」

中国経済を見る上で重要なのは、「すべては政府の方針次第」という点です。資本主義と共産主義の中間を行くような中国経済は、株式市場ですら「つまるところ政策相場」といわれるように、ほとんどが政府の方針で決まると言っても過言ではありません。

この点はマカオも例外ではなく、その最も顕著な例が、本土からマカオへの 渡航規制」です。マカオは現在も本土からの観光客で溢れていますが、実はその観光客は 渡航許可」をクリアしたごく一部の人々。では日本のように自由渡航が可能になればどうなるか？　観光客が倍増するというより、おそらく混乱で収拾がつかなくなるでしょう。

経済発展で大事なのは急成長ではなく、 持続的な安定成長」です。中国には成長の材料は山ほどありますから、あとはタイミングを見計らって適宜小出しにしていくだけで、それをコントロールしているのが中国政府です。だから政府は、マカオにおいては渡航規制により、入り口を 開けたり閉めたり」してその成長をコントロールしているのです。

そして渡航規制は、長期的には大きく緩和されていくだろうという見込みは、取材先の方々と一致するところ。つまりマカオの成長は、今後一時的に停滞することがあっても、 渡航規制緩和」という伝家の宝刀により、長期的にはほぼ約束されたも同然だと考えることができるのかもしれません。

ちなみに中国は、株式市場や不動産市場が過熱すると、すぐに金利をコントロールして市場を冷やすといったことを、今までも何度もやっています。またリーマンショック後、先進国に先駆けて大規模景気対策で内需拡大を打ち出したのも、一党独裁ならではのスピード感といえるでしょう。

カジノ収益への強い依存体質からの脱却へ

さて、そんな中国政府は、マカオの今後についても青写真があるようです。現在のマカオは、税収の大半をカジノ収益に依存していますが、取材によれば今後はカジノ以外の産業にも力を入れていく予定とのこと。例えば昨年10月には、新交通システム「LRT」の建設計画が発表されており、将来的には珠江デルタ地域と連結させる計画です。さらに、現在使われていない工場の土地には大学を作り、キャンパスシティーの建設も視野に入っています。

マカオ滞在時間は正味24時間でしたが、このカジノ都市だけでも、中国経済の勢いを十二分に感じることができました。

帰途はターボジェットではなく、ヘリコプターで香港に帰ります。香港の町並みを上空から撮影し、香港の現在を皆さんに感じていただこうと思い乗ったのですが、運賃は約200ドルと、ターボジェットより数段割高となっています。ヘリからは、香港島付近の海上に多くの船が浮かんでいるのが見えましたが、よくみるとそのほとんどは建設用の船舶。眼を転じると、陸には無数に高層タワーが乱立していて、さらに開発が進んでいる光景は圧巻でした。前々回の新興国漫遊記で香港についてのレポートを書きましたが、日本では見ることの出来ない異様な風景が、果たしてバブルとなってしまうのか。中国政府の手腕にこれからも目が離せません。

投資調査部
森永　康平

本資料の免責事項・注意事項

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

株式会社SBI証券（金融商品取引業者）関東財務局長（金商）第44号　加入協会/日本証券業協会、（社）金融先物取引業協会　SBI証券